



出町ゆかり

# 宮原たけし、出町ゆかりを励ます

## 新春のつどい

大阪府議会議員

宮原たけし



込まれ亡くなった。婚約者とお母さんが泣き崩れる。放射能も椎茸の原木から出て、まったくだめになった。再開された農業、漁業も収入は震災前の三分の一しかない。そして高槻とちがってマイナス10度が当たり前の東北で、いまだに3万人近い方が仮設住宅で生活をしている。4年目の仮設住宅はいま傷み始めてきていると。庄子さんたちは、今

でも農協などと交渉して農産物などを安くしてもらい、毎月宮古市まで物資を届けているとのこと。また風評被害で物が売れないとの話もされました。多くの人が涙ぐみながら聞いていました。私、出町ゆかりは東日本大震災のボランティア活動を通じて、日本共産党の立党の精神「国民の苦難軽減のために全力でがんばる」を実感したこと、福祉・医療の現場で働



1月17日(土曜日)市民交流センターで宮原たけし、出町ゆかりを励ます新春のつどいが開かれました。参加者は104名、たくさんの方に参加し

ていただきました。遠く盛岡市の市会議員庄子春治さんも応援にこられ、心のこもったお話を聞くことができました。4年前の統一地方選



いてきて今の政治への矛盾や怒りを感じたこと、そして今度こそ市会議員選挙での勝利の決意をみなさんの前で表明しました。宮原たけし府会議員は維新の党の都構想の問題、府民に知らされていないことを一つ一つ、わかりやすく話され、今度の統一地方選挙は安倍政権の暴走と、橋下維新の党の暴走、二つの暴走との対決、定数減で大変厳しい選挙だが勝利のため

挙、東北は4月に行われる予定が震災のため8月に延期になりました。私は8月一ヶ月間、盛岡の庄子さんの選挙の応援にいかせていただきました。そのときの縁で今回つどいに参加くださいました。あの東日本大震災、盛岡市は岩手県の内陸部で直接津波の被害はなかったけれど、庄子さんの向かいの家の息子さんが山田町に仕事で行って、津波に巻き



になにがなんでも頑張ると力強い決意をされました。応援演説の堀川さんも自作の漢詩を詠っていただき力強いエールを送ってくださいました。



### 2月・3月の法律相談

(弁護士が相談をお受けします)

・場所  
宮原たけし府会議員事務所

・電話  
675-5290

・事前に予約が必要です。まず電話してください。



# 「見通し立たぬ」自治体悲鳴

## 「要支援の人への「訪問介護」「通所介護」市町村へ

国は4月から要支援1・2の人が受けている「訪問介護」「通所介護」を介護保険の対象から外し、「地域支援事業」として市区町村に移行します。(ただし、2017年まで猶予が設けられています)

全国一律の基準も廃止。サービスは、専門知識・資格をもたないボランティアなど「多様な担い手」による「多様なサービス」を行うとしています。

地域支援事業への移行時期について「15年

4月から」と答えた市区町村は3%のみ。「見通しが立たない」「不明」は合わせて41%に上がりました。

「多様なサービス」の確保を「できる」としたのは9%だったのに対し、「見通しが立たない」は73%、4%が「未定・検討中」としています。

### 話が急すぎ

「見通しが立たない」と答えた市区町村は「財源、担い手の確保が不明」(東京)

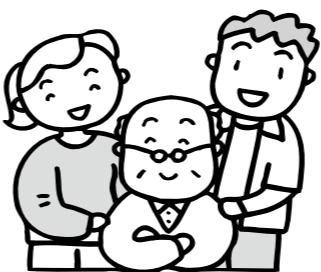
「人材確保の見通しが立たない」(愛媛)「話が急すぎる」(宮崎)などの声を寄せています。

国に対して、「給付費削減を柱にしたものであり、介護サービスを必要とする人たちの生活について軽視されている」(北海道)「国の負担を増やし、被保険者、自治体の負担を軽減してほしい」(岡山)など現場の実態を踏まえた対応を求める意見があがっています。

### 財源に不安が

医療・介護総合法案が昨年の通常国会に提出されるのに先立ち中央社保協が行った「緊急調査」では、31.4%の自治体が行は「不可能」としていました。理由として「NPO(民間非営利法人)などが想定する団体が無い」「財政やマンパワーが不足などの回答が「可能」とした自治体からも「財源確保が問題」など不安の声が寄せられています。

4月からの介護報酬2.27%の引き下げや地方自治体の声を無視して制度を実施しようとしている。「保険あつて介護なし」の現状をさらに悪化させ、利用者とその家族に犠牲を強いるものです。誰もが必要なサービスを安心して受けられるように、世論と運動を強めていきたいと思います。



衰えていることが一目でわかります。

このような時に集中豪雨が起これば、崖崩れなどの土砂災害の危険も出てきます。

現場の担当者は「観測井戸など定期的な水位調査では地下水の水位低下は起きていない」と説明。辰巳参院議員、宮原たけし府会議員は、トンネル工事に伴う地下水低下は工事中だけでなく、工事後もみていくことが必要だと指摘。工事期間中も定期的だけでなく、大雨のときはどうなのかも含めて調査をしていくことが必要、工事完成後も地下水位のモニタリング調査を実施する必要があると求めました。

こんにちは  
**出町ゆかり**です

2015年 2月号  
No.51

日本共産党高槻・島本地区委員会市民福祉部長 出町ゆかり  
高槻市南芥川町8-1 072-655-8513

# 新名神工事現場近くで 樹木の立ち枯れ



原地域で地下水の減少により、樹木の立ち枯れが起こり、土砂災害の恐れがあると、住民の方から相談がありました。1月16日に辰巳孝太郎参院議員(国土交通委員)、宮原たけし府会議員、宮本雄一郎市会議員、私、出町ゆかりで現地調査を行



いました。大阪府茨木土木事務所や西日本高速道路の工事現場担当者らも同行しました。住民の方の話では「普通、雑木は切ったところから新しい芽が出てきてまた茂っていくものだ。しかし、ここ最近、雑木の立ち枯れが増えてきている。これは地下水の枯れにとるものだと」。

住宅のすぐ上の山では雑木の枯れが目立ち、山林の保水能力が